

聖書日課 『からし種』 2023.11.12-11.18

<p>11月 12日 (日) ヨブ記 40章</p>	<p>「わたしは軽々しくものを申しました。どうしてあなたに反論などできましょう。わたしはこの口に手をおきます」(4節)。ヨブは無垢な人です。「主の御声を聞くこと」を切に望みました。ですから「あなたの言葉を聞く」と、み前にへりくだり、謙遜にひれ伏しました。ヨブのように「わたしに罪は無い」とは言えないわたしたちに伴ってくださるイエス様の恵みに感謝します。</p>
<p>13日 (月) ヨブ記 41章</p>	<p>「あえてわたしの前に立つ者があればその者には褒美を与えよう。天の下にあるすべてのものはわたしのものだ」(3節)。ヨブは主に勝たなかったのではない。ただ自分に罪なきことを主に認めて欲しかっただけ。しかし欠けだらけの人間は自分に固執し、相手を忘れ、主張し続けてしまう。だからヨブの無垢をあれほど喜ばれた主に、ヨブは咎められてしまった。</p>
<p>14日 (火) ヨブ記 42章</p>	<p>「わたしはお前とお前の二人の友人に対して怒っている。お前たちは、わたしについてわたしの僕ヨブのように正しく語らなかつたからだ」(7節)。エリファズたちは、主の権威と正しさ、そしてその裁きを語るうち、主に代わって自分たち自身がヨブを裁く者となってしまった。聖書を知ることによって、自分が主に代わって裁く者とならないよう、謙遜を祈り求めたい。</p>
<p>15日 (水) 詩編 1編</p>	<p>「その人は流れのほとりに植えられた木。ときが巡り来れば実を結び／葉もしおれることがない。その人のすることはすべて、繁栄をもたらず」(3節)。豊かな流れの側に植えられた木のように、主の側でその恵みをいただいて育つ人は、ときが来れば実をむすぶ。わたしたちは勝手に生え出たのではない。植えてくださった主の恵みをいただいて生きている。</p>

聖書日課 『からし種』 2023.11.12-11.18

<p>16日 (木)</p> <p>詩編 2編</p>	<p>「すべての王よ、今や目覚めよ。地を治める者よ、諭しを受けよ」(10節)。主はいつも、民を治める者には神に従い、神の言葉を聴くことを求められた。しかし聡明な僕であった王でさえ、この世の権力に心を惑わされ、主の言葉に背いてしまう。神の御国の王である御子をも十字架につけ、自分の権力の維持のために、小さい者たちの命も顧みなくなってしまう。</p>
<p>17日 (金)</p> <p>詩編 3編</p>	<p>「救いは主のもとにあります。あなたの祝福があなたの民の上にありますように」(9節)。今この時も、爆撃におびえ、空腹と渇きにさいなまれて、暗闇の中、身を横たえる場もなく、明日こそは朝の光とともに平和がきますように！と祈る多くの人たちがいることをわたしたちは知らされている。「あなたの祝福があなたの民の上にありますように！」と心から祈り続ける。</p>
<p>18日 (土)</p> <p>詩編 4編</p>	<p>「呼び求めるわたしに答えてください／わたしの正しさを認めてくださる神よ。苦難から解き放ってください／憐れんで、祈りを聞いてください」(2節)。苦難の中にあるダビデが、自分を選び出し認めてくださった神に、助けを乞い願う祈り。「憐れんで、祈りを聞いてください。」どれほど多くの人たちが祈っているか？わたしたちもこの祈りに合わせて祈りたい。</p>
<p>19日 (日)</p> <p>詩編 5編</p>	<p>「主よ、わたしの言葉に耳を傾け／つぶやきを聞き分けてください」(2節)、「主よ、朝ごとに、わたしの声を聞いてください。朝ごとに、わたしは御前に訴え出て／あなたを仰ぎ望みます」(4節)。「つぶやき」は「うめき」とも訳される。言葉にならず、もだえ苦しむ心のうちを主は聴きとってください。「朝ごと」に主の御前に進み出て、主を仰ぎ望む信仰を生きていこう。</p>